

会議概要（速報）

件名	令和3年度 第2回新潟市食育推進会議	
日時	令和3年8月10日（火）午後2時～4時	
場所	古町ルフル4階 401会議室	
出席者	委員	猪俣委員、佐藤委員、真保委員、高杉委員、長谷川委員、馬場委員、松井委員、宮川委員、村井委員、村山委員、和須津委員 (欠席：葛見委員)
	事務局	【食と花の推進課】坂井課長、岸本課長補佐、佐藤係長、春川副主査、酒井副主査
概要	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第3次新潟市食育推進計画の進捗状況について【資料1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画策定時の平成28年度から令和2年度における指標の実績推移を説明。学校給食における地場農産物を使用する割合は年々低下している。また、小・中学生の朝食欠食率は2.0%と、これまでで最も高い数値となっている。 ・今後食育に関する市民アンケートを実施し、第3次計画の分析・最終評価を行っていく。 <p>【主なご意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食欠食率が悪化している主な原因などはわかっているものなのか。 →7月に実施した子育て世代へのヒアリングでは、「食欲がない」「ダイエット」「食べる習慣がない」が朝食を欠食する理由として多く挙げられていた。 今後実施する市民アンケートにおいて、欠食の理由等も把握していきたい。 ・学校給食における地場農産物の使用割合において、食材の値上げが影響しているが、これに対して市として取り組むこと、対策などはあるか。 →全国的な天災の影響で食材の価格が左右されている。今年度に専門家を講師にむかえ、学校給食関係者向けのフォーラムを開催する。 ・地場農産物の使用について、B品の利用等に関して関係者からご意見をいただき、活用していただければ食材費が下がる部分もあるのでは。 <p>(2) 令和3年度食育推進事業について【資料3・4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の食育推進事業について説明。関係課においては新型コロナウイルスの感染状況等を考慮しながら、実施方法や内容を検討し、昨年度に引き続き実施予定。 ・食と花の推進課においては、昨年度から取り組み始めた、大学生と連携したレシピの考案および投稿キャンペーンや食品ロスの普及啓発にむけたエコレシピコンテスト等を実施していく。 	

(3) 第4次新潟市食育推進計画骨子(案)について【資料5・6・7】

- ・委員との意見交換会でいただいたご意見を集約し、説明。「生きることは食べる」ということを「食育」の土台として市民にわかってほしいというご意見を共通していただいた。
- ・子育て世代対象にヒアリング調査を実施したため、概要を説明。
- ・次期計画の方向性、コンセプト、基本目標について案を提示。

【主なご意見・質問等】

- ・朝食の欠食に関しては教育の問題が大きい。「早寝早起き朝ごはん」の教育が中学生になると途絶える。教育関係と連携できるとよいのでは。
- ・意見交換会での内容が反映されている。専門学校生と関わる機会があったが、やはり食に対して関心が薄いと感じた。孤食が多く、みんなと一緒に楽しく食べる機会が少ない。食材と向き合って挑戦できる機会が必要なのでは。
- ・この計画を今後いかに市民へ広め、知ってもらうかが課題。現状では食のことを考えている学生が本当に少ない。保育園からの食育の流れが高校生になると途切れてしまう。言い続けること、機会を与えることが大切。
- ・無関心層は自らが無関心だという自覚がない。親世代は自分の朝食欠食が子どもに影響しているという自覚もないのでは。全世代が食の大切さに気付いてもらえるとよい。

(4) 第4次新潟市食育推進計画数値指標について【資料8・9】

- ・食育に関する調査の進捗状況と今後のスケジュール、次期計画にむけた指標案について説明。今後関係課と協議し、指標や調査項目を固め、再度委員の皆さまへ提示させていただき、アンケート調査を実施していく予定。

(5) その他

【主なご意見・質問等】

- ・マスター制度について「よくわからない」という方が多い。マスター自身の意識も個々で異なるのであれば、今後は仕組みの見直しも必要か。
- ・朝食摂取については、バランスの整ったきちんとした食事を摂ることを目指すのか、おにぎりやパンでも、とにかく何か食べることを目指すのか、市民はどう捉えたらよいのか。
- ・「共食」については、1人暮らしの人もあるため、「いつもひとりで食べている」「食べることが多い」という把握の方がよいのでは。

3 閉会

傍聴

1人

報道

なし